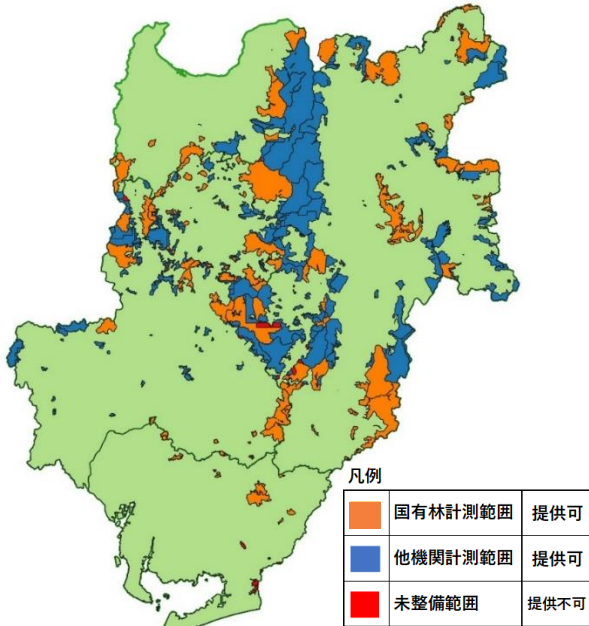


お役に立ちます国有林

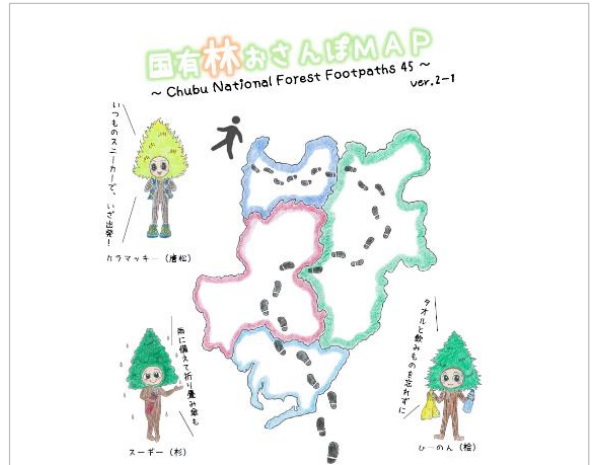
～ 民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ～

－ 中部森林管理局の取組事例－



R5.4.1 現在

航空レーザーデータの整備状況



ストリートビュー専用カメラ



ヘリコプターによる被害状況調査

中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて、様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に参考としていただけるような事例をご紹介します。

皆様からのご助言等をいただきながら、より充実した取組となることを目指して参ります。

令和5年3月版

目 次

取組事例	ページ	参考となる皆様		
		自	事	所
災害発生時におけるヘリコプターによる迅速な調査	1	○		
既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発	2	○	○	
航空レーザ計測データの活用と共有	3	○	○	○
「軽量フレーム」を使用した等厚コンクリート擁壁 <small>ようへき</small>	4	○	○	
多様で健全な森林 <small>もり</small> づくりへの取組 ～「見える化」プロジェクト～	5	○		○
有用広葉樹等の保残による植栽面積(本数)の削減	6	○		○
作業路網や中間土場の民国共同利用	7	○		○
伐採・造林一貫作業システムによる低コスト施業	8	○	○	○
低コスト造林 ～成果の見える化～	9	○		○
素材生産事業における労働生産性の向上	10	○	○	○
ついで捕獲、ついで見回り・通報 ～事業体、猟友会等のご協力によるニホンジカ捕獲～	11	○	○	○
ニホンジカ食害防除対策の現地展示と検討会開催	12	○	○	
ICTを活用したニホンジカ捕獲 ～ワナ見回りの軽減～	13	○		
信州プレミアムカラマツのブランド化	14	○	○	○
D材(端材及び末木枝条)の買受け希望者募集	15	○	○	○
木材市場と連携した特殊な寸法や品質の木材の供給	16	○	○	
国有林おさんぽMAP ～国有林を歩いて健康づくり～	17	○		
森林環境教育を行う場所の提供	18	○		
多様な活動の森の協定を活用した地域振興	19	○		○
木曾谷観光産業の復興支援 ～中山道木曾十一宿パズルラリー～	20	○		
Google Earthを活用した民国森林情報の共有	21	○		○
Googleストリートビューを用いた観光資源の紹介	22	○		

※自＝自治体 事＝林業、森林土木事業者 所＝森林所有者

災害発生時におけるヘリコプターによる迅速な調査

1. ねらい

豪雨等による山地災害の被害状況を迅速に把握するため、ヘリコプターによる被害状況調査を実施し、地域の安心・安全の確保に努めています。

2. 概要

大規模な山地災害が発生した場合には、県・市町村とも調整・連携の上、ヘリコプターによる被害状況調査を実施し、およその被害規模や被災状況を確認します。

3. 成果

令和元年東日本台風や令和3年8月豪雨において、山腹の崩壊や土砂等が流出した被災箇所を上空から確認し、河道閉塞(土砂ダム)など二次被害が懸念される箇所の緊急性の有無の検討に加え、その後の地上調査の足がかりとするとともに、県や市町村に対し情報提供を行いました。

なお、調査に当たっては、林野庁開発の「山地災害調査アプリ」を使用し写真撮影や災害箇所の特定、迅速な情報共有を行っています。



現地データ取得/地図閲覧アプリ



調査結果閲覧アプリ



4. 問い合わせ先

企画調整課、治山課 電話026-236-2515

既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発

1. ねらい

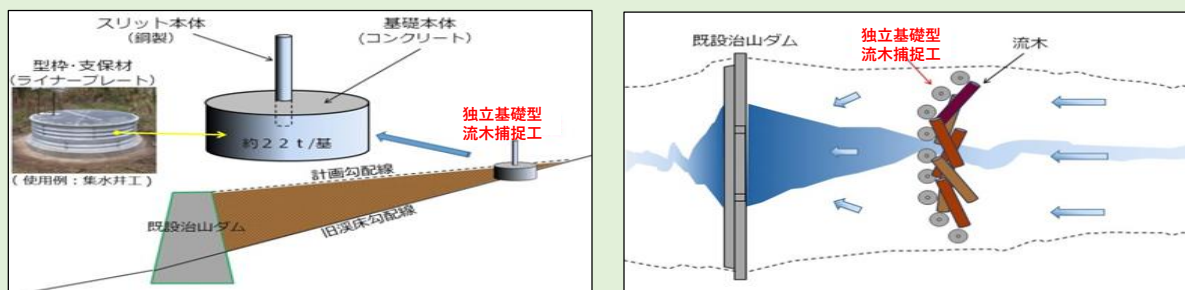
平成29年九州北部豪雨による甚大な流木災害等を受け、より一層の流木対策を推進するため、既設治山ダムを有効活用する「独立基礎型流木捕捉工」を考案しました。

2. 概要

主な構造は、鋼管1本とそれを立て込む独立したコンクリート製の基礎を1基とすることが特徴となっており、既設ダムの上流側へ横一列に設置することで流木を捕捉し、下流への流出を防ぎます。

また、1基ごとに独立していることから、流木を受け止める鋼管部分が破損等した場合、鋼管のみを抜き取りのうえ再設置が可能なことから、経済性・施工性に大きなメリットがあります。

縦断及び平面イメージ



3. 成果

管内の4箇所試験施工しており、そのうち東又谷(富山署管内)では、令和4年8月の降雨により発生した流木の捕捉が確認できました。

また、試験段階では、同等規模の従来型流木捕捉式治山ダム(新設)と比較し、設置費で概ね25%減、施工時間で概ね75%減となるなど、経済性・施工性において成果を示すことができました。



4. 問い合わせ先

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/chisan/guideline.html>

治山課 電話026-236-2640

航空レーザ計測データの活用と共有

1. ねらい

森林土木工事や事業計画策定等の効率化を図るため、地表面の形状を三次元的に計測したデータを活用いただけます。

2. 概要

近年、記録的な降雨などにより全国各地で激甚な山地災害が発生しています。このため、中部森林管理局では、国土強靱化に向けた取組の一環として、所管する国有林野等の航空レーザ計測等を概ね完了し、崩壊地や崩壊危険地の把握・分析を進めています。

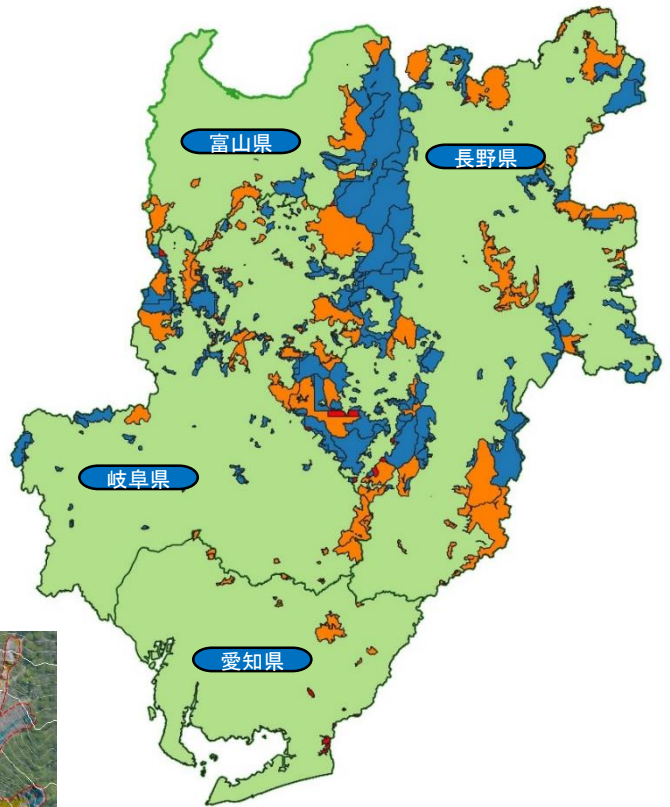
また、この計測データは、公共測量成果として国土地理院へ順次提出しています。

3. 成果




○山地災害の前兆地形(植生に覆われた地表の亀裂や地すべりの痕跡など)を発見することができます。

○災害前後の地表面の形状を比較(差分解析)することにより、災害規模等を把握することができます。

○計測データを活用することで平面図等を作成することができます。



凡例

	国有林計測範囲	提供可
	他機関計測範囲	提供可
	未整備範囲	提供不可



4. 問い合わせ先

治山課 電話026-236-2640

「軽量フレーム」を使用した等厚コンクリート擁壁^{ようへき}

1. ねらい

熟練した建設業技能者の減少により、施工が困難となりつつあるコンクリート練ブロック積土留工の、代替工法の一例として「軽量フレーム」を使用した等厚コンクリート擁壁について紹介します。

2. 概要

盛土の造成や崩壊地の復旧では、古くから^{けんちいし}間知石を用いた石積やコンクリートブロック積の擁壁が普及・定着してきました。これらの積み作業には、熟練した技能と相当の体力を要しますが、その技能者の高齢化や減少が進み、一部では施工が困難となりつつあります。そのため、軽くて組立が容易な「軽量フレーム」を使用した「等厚コンクリート擁壁」を考案したところです。

この擁壁の施工は、①鉄製の軽量フレームを現地で組立・設置、②軽量フレームに木製残存型枠を固定、③コンクリートの打設となります。

また、型枠材を縦使いにすることで地形に沿った曲線施工も可能となります。

軽量フレーム設置状況



平割材型枠設置状況



コンクリート打設状況



施工完了



3. 成果

施工者からは、「施工が容易で軽量のため労力の負担軽減ができた。」との意見が寄せられました。

4. 問い合わせ先

計画保全部 治山課 電話026-236-2640

多様で健全な森林づくりへの取組 ～「見える化」プロジェクト～

1. ねらい

生物多様性の保全など森林の持つ公益的機能の一層の発揮に向け、針広混交林等の多様な森林づくりを進めるため、「見える化」プロジェクトを進めています。

2. 概要

国有林では、育成複層林化等の取組を先導的に進めるなど、多様な森林づくりを推進しています。

多様な森林づくりにおいては、自然条件や社会的条件を踏まえた育成単層林・育成複層林の適切な配置の検討や、天然力を活用した育成複層林に誘導するための技術の検証等を進めていく必要があります。

このため、岐阜森林管理署管内の岐阜県下呂市内の落合国有林に「見える化」区域(1,085ha)を設定し、検証を進めています。

3. 成果

「見える化」区域の一つ、落合国有林134こ林小班(小班面積4.91ha、皆伐跡地)では、天然更新による稚樹の発生が見られたことから、針広混交林への誘導や、天然更新による造林作業の省力化を図るため、天然更新状況調査を実施しました。その結果、小班内の一部区域において天然更新の完了基準の条件を満たしていることが分かり、当該地での造林作業の大幅な省力化(造林面積を32%低減)に資する結果となりました。



4. 問い合わせ先

計 画 課
岐阜森林管理署

電話026-236-2602
電話0576-62-3121

有用広葉樹等の保残による植栽面積(本数)の削減

1. ねらい

多様で健全な森林へ誘導するため、皆伐予定地に生育する有用広葉樹を積極的に保残するとともに、保残木の占有面積を植栽面積から除外して植栽本数を削減します。

2. 概要

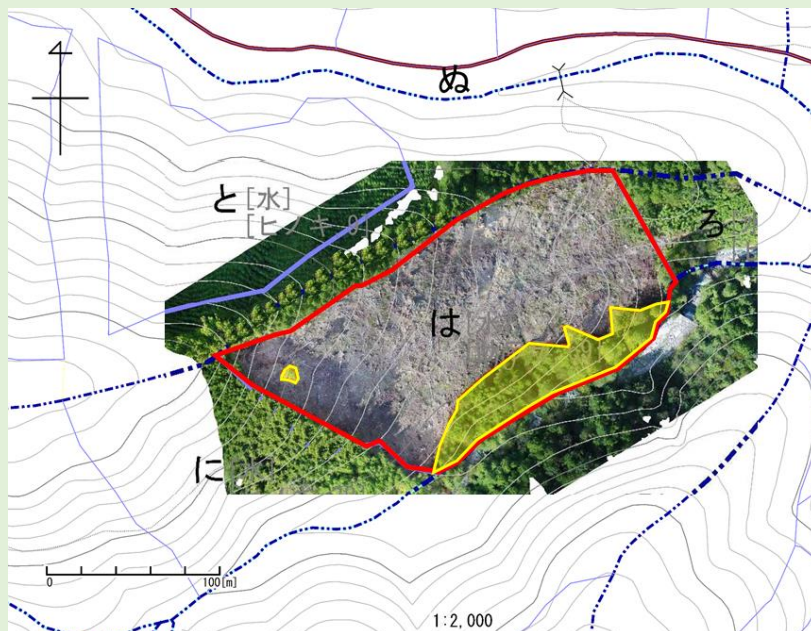
保残する有用広葉樹の占有面積は、ドローンの自動飛行により写真撮影を行い、その空中写真をオルソ画像化することにより確定します。

3. 成果



～モデル事業地での効果の試算～

皆伐面積2.42haから保残木占有面積0.38haを除くことによりヒノキ植栽本数840本を削減することが可能です。

これにより、植付等経費約77万円(植付34万円、地拵17万円、下刈(5回)26万円)を削減することが可能です。



有用広葉樹の保残状況

凡 例	
	保育・更新施業対象区域
	更新面積からの控除区域

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話 026-236-2566

作業路網や中間土場の民国共同利用

1. ねらい

森林施業の効率的かつ効果的な実施と、木材の安定的な供給を目指して、民有林と国有林で作業路網や中間土場を共同で利用しています。

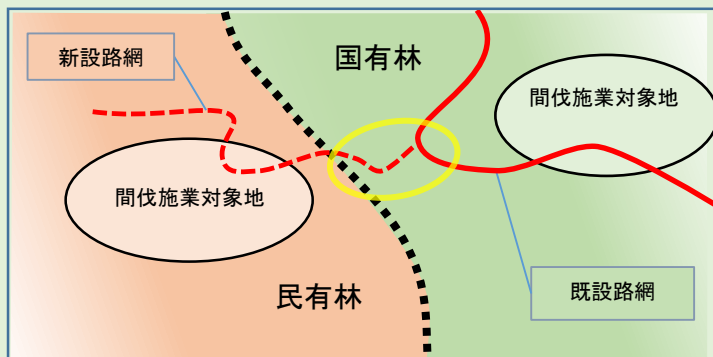
2. 概要

民有林と連携した森林整備の効率化等に取り組むため、中部森林管理局管内で14の森林整備推進協定を締結し、18箇所の森林共同施業団地を設定しています。

このうち、「木曾谷流域森林整備推進協定」に基づく森林共同施業団地では、民有林と国有林が連携して実施計画を策定し、相互の作業路網を連結したり、中間土場を共同で利用して協調出荷を行っています。

3. 成果

現場へのアクセス効率が改善され、事業のコストダウンを実現するとともに、需要者と協定を結んで安定的にカラマツ等の木材を供給することができました。



中間土場から協調出荷した
システム販売量の推移

年度	販売数量 (m3)	うち民有林材 (m3)
30	9,375	2,242
元	8,453	3,888
2	9,021	2,855
3	14,550	1,891
4	13,878	2,880

※平成30～
令和3年度は
実績数量。

※令和4年度は
見込数量。

4. 問い合わせ先

計 画 課 電話026-236-2602
資源活用課 電話026-236-2671

伐採・造林一貫作業システムによる低コスト施業

1. ねらい

戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎え、今後、主伐の増加が見込まれることから、林業の持続に向けて再造林を円滑に行うため、造林コストの低減を図ります。

2. 概要

伐採・造林一貫作業システムとは、伐出機械を再造林作業の一部に利用したり、コンテナ苗を活用して、当年度中に伐採から地拵・植栽までを終わらせる低コスト作業システムです。

3. 成果

(1) 車両系システムでは、伐採搬出機械を使用した機械地拵により、末木枝条等を整理することが可能です。(人力地拵比約47%コスト減)



油圧ショベル(バケット)



油圧ショベル(グラップル)



作業後のイメージ

(2) 架線系システムでは、全木集材による末木枝条の搬出により、地拵作業の省力化が可能です。(人力地拵比約17%コスト減)



全木集材



コンテナへ積込



トレーラー運搬

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話026-236-2566

低コスト造林 ～成果の見える化～

1. ねらい

造林事業の低コスト化を推進するため、取組成果をわかりやすく発信します。

2. 概要

契約金額での比較では、D材(林地残材)の搬出等による無地拵や、下刈の隔年実施による下刈省略等による低コスト化の成果が把握できません。

このため、各作業を仕様別に集計すると共に、省略状況を把握することで「成果の見える化」を図りました。

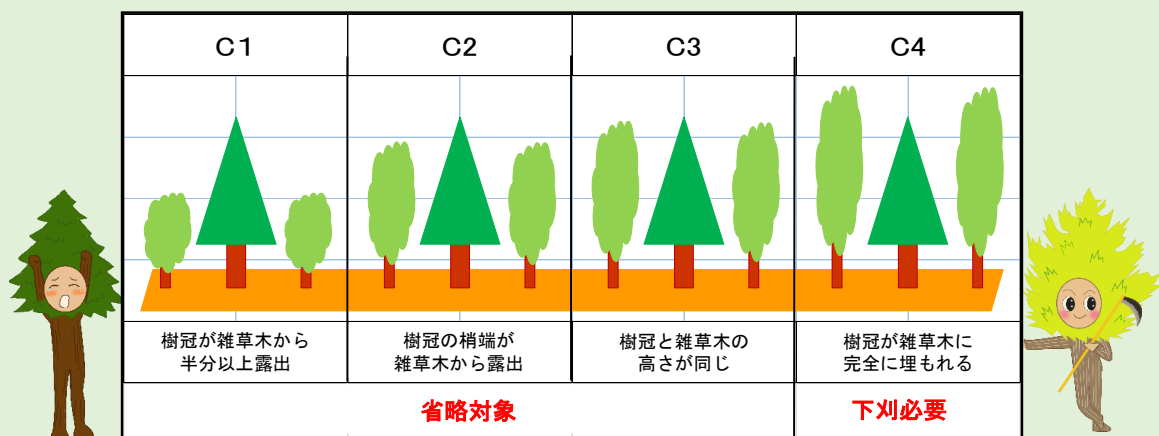
3. 成果(令和3年度実績)

◎ 下刈省略

植栽後年数	面積(HA)	割合
1年目省略	77	31%
2年目省略	41	16%
3年目省略	19	7%
4年目省略	53	21%
5年目省略	59	24%
計	249	100%



- * 樹種はスギ・ヒノキ・カラマツ。
- * 下刈対象面積は約1,023ha。(実行面積は約774ha)
- * 下刈対象面積の約24%を省略。(約36百万円を削減)



※出典: 山川ほか(2016)スギ植栽木の樹高成長に及ぼす期首サイズと周辺雑草木の影響、日林誌98:241-246

- * 下刈のほか、地拵、植付、シカ被害対策についても成果の見える化を図っています。

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話026-236-2566

素材生産事業における労働生産性の向上

1. ねらい

木材需要の拡大に伴う安定的・効率的な素材の生産体制を確立するため、素材生産事業者及び民有林関係者の方々と連携して生産性向上に取り組んでいます。

2. 概要

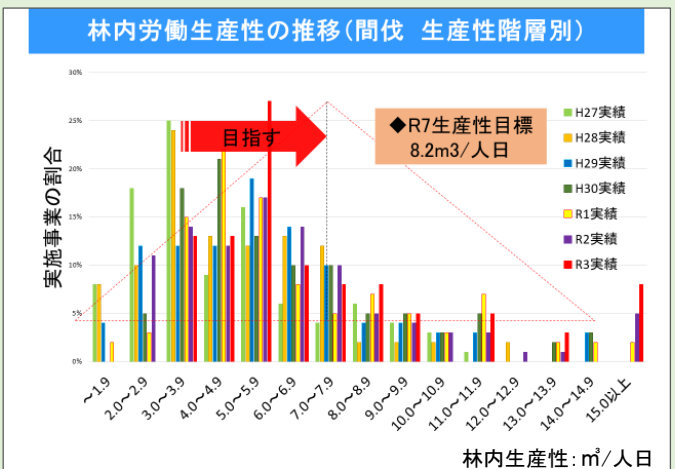
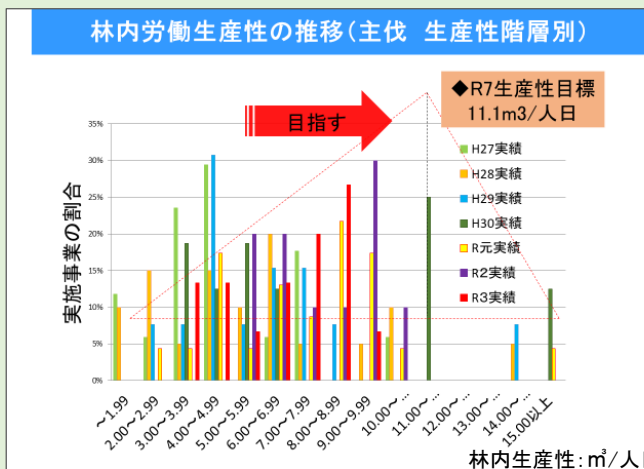
- ① 素材生産事業者、民有林行政担当者、有識者、署等担当者等による現地検討会の開催。
- ② 事業者の自主的な取組を支援し、局署等は事業者をサポート。
- ③ 推奨事業地での成果をホームページへアップ。
- ④ 事業者等が行う勉強会や発表会の支援等を、「生産性向上実現プログラム」として実施。



3. 成果

各種取組の成果として、事業者全体の底上げが図られていますが、R7年度に達成すべき林内労働生産性目標である主伐で11.1 m³/人日、間伐で8.2m³/人日に向けて、引き続き取り組んでいきます。

各事業者が、機械よりも技能者の動きを優先した柔軟な人員配置、日報分析によるボトルネックの解消などにより、低コストで高効率な生産システム構築に向けた工夫を行っています。



4. 問い合わせ先

資源活用課 電話026-236-2677

ついで捕獲、ついで見回り・通報 ～事業体、猟友会等のご協力によるニホンジカ捕獲～

1. ねらい

深刻化するニホンジカによる林業被害に対して、地域ぐるみで捕獲を進めるため、国有林内で仕事を行う事業体の皆様のご協力を得て、仕事の「ついで」に捕獲や見回りを行っていただいています。

2. 概要

国有林内で造林や治山などの仕事をされる事業体と地元の猟友会等の協力を得て、事業地周辺に猟友会がワナを設置し、事業体が通勤時や作業時にワナを見回り、捕獲できていたら猟友会等に通報します。なお、事業体の職員が狩猟免許を所持していれば、自らワナを設置して捕獲する協力もいただいています。

国有林は、捕獲許可申請、ワナの貸し出し、クマが錯誤捕獲された場合の放獣手続きと費用負担を行うほか、ご協力いただいた皆様に感謝状の贈呈を行う場合もあります。

3. 成果

造林、生産、林道、治山等の各事業において、関係各位のご協力により、平成30年5月～令和4年3月までの4年間の実行契約件数は29件、捕獲頭数は639頭となりました。



「ついで捕獲、ついで見回り・通報」イメージ図

(平成30年5月～令和4年3月)

契約種別	実行した契約件数		捕獲頭数	
	()		()	
造林関係	(0)	1	(0)	1
生産関係	(3)	10	(1)	8
林道関係	(4)	9	(25)	41
治山関係	(0)	7	(0)	584
立木販売	(2)	2	(4)	5
合計	(9)	29	(30)	639

()は、ついで捕獲で内数

「ついで捕獲、ついで見回り・通報」による実績

4. 問い合わせ先

技術普及課 電話026-236-2624

ニホンジカ食害防除対策の現地展示と検討会開催

1. ねらい

ニホンジカによる食害の防除対策を普及するため、「獣害対策展示エリア」を国有林内に設け、検討会を開催しています。

2. 概要

防護柵や単木保護資材、センサーや囲いワナなど、ニホンジカによる食害を防ぐための様々な手段を現地に展示した「獣害対策展示エリア」を、岐阜県加茂郡七宗町との森林共同施業団地内に設置しました。

令和元年8月に展示を開始したこのエリアにて、県、市町村、林業事業者等の職員を対象に、岐阜県森林研究所、岐阜大学、防護資材開発メーカー、森林管理局がそれぞれの獣害対策を紹介し、参加者の間で意見を交換する現地検討会を毎年開催しています。



獣害対策展示エリア

3. 成果

検討会は、令和3年度は32名、令和4年度は41名が参加し、「防除」、「捕獲」の両輪による対策の検討、情報共有を行いました。

また、展示エリア内のワナでも5頭のシカが捕獲されました。



4. 問い合わせ先

岐阜森林管理署
森林技術・支援センター

電話0576-62-3121
電話0576-25-3033

ICTを活用したニホンジカ捕獲 ～ワナ見回りの軽減～

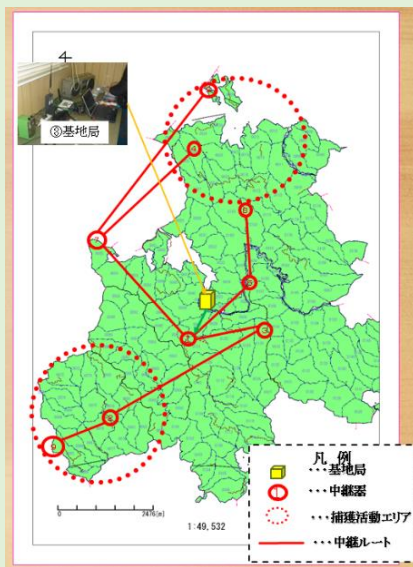
1. ねらい

ニホンジカ被害対策としてワナによる捕獲を行う際に、最も負担となる見回り労力の軽減のため、携帯電波が届かないエリアでも使える精度の高い捕獲通知システムを試行しています。

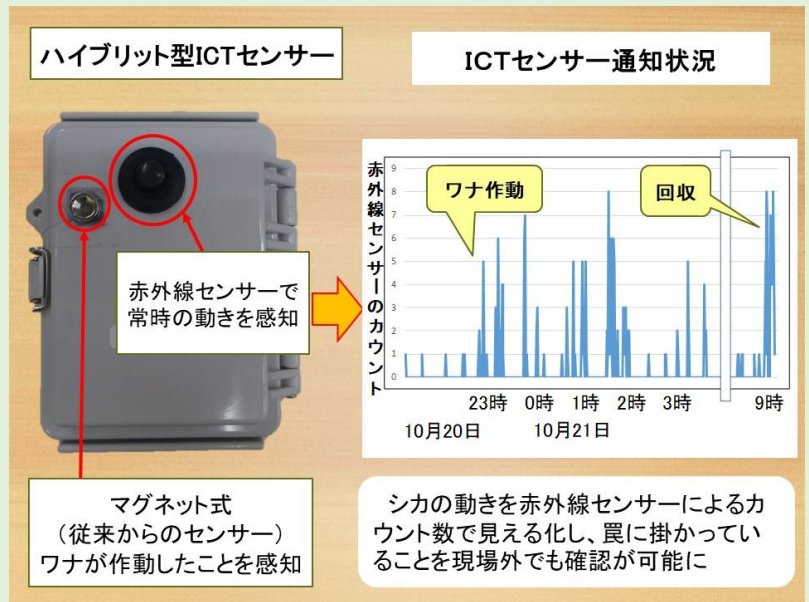
2. 概要

携帯電話回線によりメールが届く従来のシステムでは、携帯電波の届きにくい山間部では限界があります。また、マグネット式センサーでは、捕獲されない空はじきでも通知が届いてしまいます。

新たなシステムでは、①LPWA(省電力広域通信)と携帯通信を連携させ、②マグネット式と赤外線を組み合わせた「ハイブリッド型ICTセンサー」を導入することにより、自宅に居ながら、山間部に仕掛けたワナを高い精度で監視することができます。



カバーエリアの拡大



3. 成果

LPWAの使用により、使用者の電波免許も不要で省電力無線を低コストで運用することができ、最大10kmの通信が可能となりました。

「ハイブリッド型ICTセンサー」により、ワナ作動後のシカの動きがセンサー作動数で通知されるため、精度の高い監視が可能となりました。

これらの導入によって、見回り労力が軽減しました。

4. 問い合わせ先

愛知森林管理事務所 電話0536-22-1101

信州プレミアムカラマツのブランド化

1. ねらい

良質な大径材、高品質な製品として信州カラマツの利用を推進するため、長野県や木材関係団体と協同して一定規格以上の丸太をブランド化し、市場に流通させています。

2. 概要

長野県を代表する樹種「カラマツ」は、先人たちの努力により、植え、育てられ、古いものは80年以上の時を経て、全国に先駆け大径材として生産、利用の時代を迎えています。

平成29年5月に開催された「国際ウッドフェア2017」の会場において、長野県、長野県森林組合連合会、長野県木材協同組合連合会とともに、長野県産の林齢80年生以上の高齢級カラマツ人工林から生産される径級30センチ以上の良質な大径材丸太を「信州プレミアムカラマツ」として発表し、同年10月に初出荷しました。



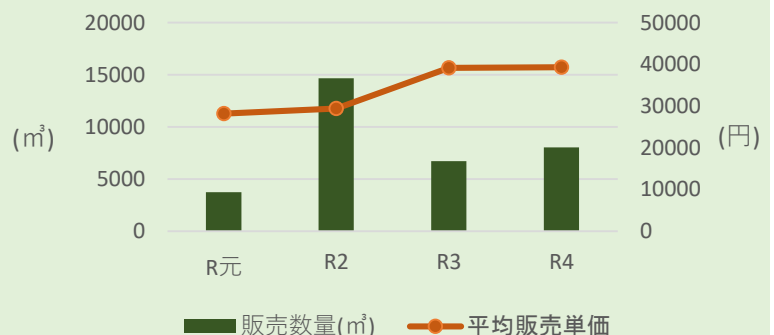
信州プレミアムカラマツ

3. 成果

民有林材と国有林材を合わせて平成29年度から販売を開始し、今までの最高単価(1m³当たり)は平成30年度に記録した45,000円でしたが、令和4年度に51,000円の高値に更新されました。



木曾町「三岳保育園」で使用されている信州プレミアムカラマツ



信州プレミアムカラマツの販売実績と販売単価

4. 問い合わせ先

資源活用課 電話026-236-2677

D材(端材及び末木枝条)の買受け希望者募集

1. ねらい

丸太の生産に伴い発生するD材(端材及び末木枝条)の有効活用と伐採跡地における地拵作業の軽減及びコスト縮減を図るため、従来は現地に残置していたD材の買受け希望者を募集しています。

2. 概要

架線集材や、伐採から地拵までを一つの契約で行う事業地では、事業実行により発生するD材の見込量や場所を公表して、買受け希望者を募集しています。買受け希望があった際には、全木集材(枝葉をつけたまま)によりD材を土場や林道付近に集積します。

このほかにも、土場や林道付近にD材が集積される場合は、随時、その量や場所を公表して買受け希望者を募集しています。

買受け希望者がD材を購入した場合は、集積されている場所でD材を引き渡し、そこから先は買い受けた方に運搬していただくことになります。

3. 成果

全木集材のメリットは、資源の有効活用や地拵作業の軽減が図られるほか、比較的整地された場所で枝払い作業等が可能となるため、安全性の向上も期待できます。

ただし、伐採事業者は、集材、枝払、丸太の積込みに加えて、D材の集積など複数の作業が一定のエリア内で交錯して行われることから、作業者間の連携を密にすることが重要です。

また、全木集材のデメリットとして、全幹集材(伐倒箇所では枝払いし、幹だけを集材)に比べ、1回の集材量が減少してしまうことで、集材の作業効率が低下する場合もある点に注意が必要です。



運搬車への積込み状況

年度	販売量 (m3)	販売署数
H30	3,085	10
R1	1,176	8
R2	3,376	7
R3	7,380	9

D材の販売実績

4. 問い合わせ先

資源活用課 電話026-236-2677

木材市場と連携した特殊な寸法や品質の木材の供給

1. ねらい

公共建築物や神社仏閣などの建設に必要な大径材や長尺材を円滑に供給するため、木材市場を通じた受注生産を行っています。

2. 概要

中部森林管理局が丸太の販売を委託している木材市場では、大径や長尺の丸太が必要な方からのご相談を受け付けています。

中部森林管理局は、ご相談を受けた木材市場からの情報を基に、管内の事業地からカラマツ・ヒノキ・スギなどの人工林材が供給できるか調べ、供給可能な場合には木材市場を通じて丸太を販売します。

3. 成果

令和4年4月に完成した長野県南木曾町^{つまご}の妻籠町並み交流センター建設用材として、長さ4m×径級36cm以上の人工林ヒノキ丸太を3本、長さ6m×径級36cm以上の人工林ヒノキ丸太を55本、計58本を木材市場を通じ販売しました。



木材市場



製材加工所



南木曾町 妻籠町並み交流センター



4. 問い合わせ先

資源活用課
名古屋事務所

電話026-236-2677
電話052-683-9206

国有林おさんぽMAP ~国有林を歩いて健康づくり~

1. ねらい

中高年の方々を中心に、季節毎の景色を楽しみつつ、気軽に楽しく心身の健康づくりを行っていただくため、45ヶ所のおさんぽコースを紹介しています。

2. 概要

登山やトレイルランなどの運動負荷の高いコースはハードルが高いけれど、舗装路の散歩では物足りない。そんな需要に応えようと「登山未満、マチナカ以上」をコンセプトに、中部森林管理局管内各地の国有林から、中高年の方の体力づくりに必要とされる「中等度の負荷を与える運動を30分以上」行うことができるコースを厳選しました。

また、森林で過ごすことの効能に加え、骨粗鬆症や認知症を予防するのに効果的な歩き方もご紹介しています。実際に歩いた職員の年代、身長、所要時間、歩数もコース選びの参考にしていただけるよう掲載しました。

公表ページURL

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/welcome/invitation/sanpo-map.html>



中部森林管理局管内のおさんぽコース

おさんぽコース 目次

コース番号	所在地	コースの長さ (所要時間)	MAPページ
①登山1	富山県 中野村御正山内	富山コース (所要時間約45分)	1
①登山2	富山県 中野村御正山内	中山コース (所要時間約45分)	4,6
②次山1	長野県 戸倉	戸倉コース (所要時間約30分)	2
②次山2	長野県 戸倉	戸倉コース (所要時間約30分)	3
②次山3	長野県 戸倉	戸倉コース (所要時間約30分)	4
③中谷1	長野県 大鹿郡小豆村	大鹿コース (所要時間約30分)	5
③中谷2	長野県 大鹿郡小豆村	大鹿コース (所要時間約30分)	6
③中谷3	長野県 大鹿郡小豆村	大鹿コース (所要時間約30分)	7
③中谷4	長野県 大鹿郡小豆村	大鹿コース (所要時間約30分)	8
③中谷5	長野県 大鹿郡小豆村	大鹿コース (所要時間約30分)	9
④東山1	岐阜県 美濃郡美濃町	美濃コース (所要時間約30分)	10
④東山2	岐阜県 美濃郡美濃町	美濃コース (所要時間約30分)	11
④東山3	岐阜県 美濃郡美濃町	美濃コース (所要時間約30分)	12
④東山4	岐阜県 美濃郡美濃町	美濃コース (所要時間約30分)	13
④東山5	岐阜県 美濃郡美濃町	美濃コース (所要時間約30分)	14
④東山6	岐阜県 美濃郡美濃町	美濃コース (所要時間約30分)	15

3. 成果

利用者からは、「整備された歩道で歩きやすかった。」「久しぶりに空気がおいしかった。」「北アルプスの眺望が素晴らしく、違う季節にまた行きたい。」といった声が寄せられています。



4. 問い合わせ先

保全課 電話026-236-2561

森林環境教育を行う場所の提供

1. ねらい

学校や自治体などが継続的に自然観察会や林業体験会などを開催するため、活動に適した国有林を協定に基づいてお使いいただいています。

2. 概要

国民参加の森林づくり制度の一つ「遊々の森」は、教育機関や自治体などが森林管理署と協定を締結することによって、活動に適した国有林のフィールドで様々な遊び、体験や学習を行うことができる制度です。令和4年4月現在では中部森林管理局管内に12箇所(323.93ha)が設定されています。

協定の相手方は小学校、大学、自治体、教育委員会などで、継続的に自然観察や林業体験などの活動が行われています。

3. 成果

例えば、平成20年に長野県小県郡長和町立和田小学校と協定を締結した遊々の森「和田小学校 黒耀の森」(2.35ha)では、毎年、同小学校3年生が森林学習を実施しています。



和田小学校 黒耀の森



遊々の森協定締結一覧

令和5年4月1日

名称	施主体	所在地
山童の森	学校法人 東京環境工科学園 東京環境工科専門学校	長野県 上水内郡 信濃町
御代田町 遊々の森	御代田町	長野県北佐久郡 御代田町
ともりん	中野区教育委員会	長野県北佐久郡 軽井沢町
和田小学校 黒耀の森	長和町立 和田小学校	長野県小県郡 長和町
練馬区 遊々の森	練馬区教育委員会	長野県北佐久郡 軽井沢町
ソフィアの森	上智大学大学院	長野県北佐久郡 軽井沢町
UWC ISAK Japan 大日向遊々の森	学校法人 ユナイテッド・ワールド・カレッジISAKジャパン	長野県北佐久郡 軽井沢町
多摩市民の森 ・フレンドツリー	多摩市	長野県諏訪郡 富士見町
つながる遊学の森	高山市立 栃尾小学校	岐阜県高山市
源流の森	高山市	岐阜県高山市
みんなの森	犬山市立 今井小学校 犬山市	愛知県犬山市
神明の森	瀬戸市立 掛川小学校	愛知県瀬戸市

4. 問い合わせ先

技術普及課 電話026-236-2630

多様な活動の森の協定を活用した地域振興

1. ねらい

貴重な自然の保全と利用の両立を図るため、地元自治体と協定を締結して、自然環境の保護や自然散策ツアーを行っていただいています。

2. 概要

平成30年3月に、高山市と飛騨森林管理署は、「乗鞍山麓五色ヶ原の森」にある国有林の保護や利用に関する協定を結びました。

高山市は、自然への影響に関する調査・検証を行うとともに、この協定に基づき、原生林の中に点在する雄大な滝・池・湿地を含む国有林を利用して、自然環境の保護、遊歩道の整備、避難小屋の管理、ガイドツアーの開催などの活動を行っています。

3. 成果

完全予約制の有料ガイドツアーを高山市の指定管理者が開催するなど、地域の雇用が創出されました。



布引滝



4. 問い合わせ先

飛騨森林管理署 電話0577-32-0101

1. ねらい

古くから森林・林業・木材産業との関わりが深い木曾谷の地域振興のため、木曾街道を巡りながら、木曾のヒノキ材で作られたパズルピースを一つ一つ集めて、1枚の絵が完成するパズルラリーを実施しています。

2. 概要

中山道木曾十一宿パズルラリーは、長野県塩尻市から岐阜県中津川市に至る中山道の木曾十一宿を北部(塩尻市贄川～木曾町福島)と南部(上松～中津川市馬籠)に分け、それぞれの観光案内所等6ヶ所にご協力いただき、パズルピース1枚づつが置いてあります。

これらパズルピースを集めて、木曾森林ふれあい推進センターにご応募いただくと、木曾ひのきを使用した張り板と台座を応募者全員に進呈します。パズルの絵柄は、木曾路美術館所蔵の歌川広重の浮世絵を使用しています。

このほか、「赤沢自然休養林トレッキングパズルラリー」、「御嶽山麓トレッキングパズルラリー」も期間限定で行っています。



3. 成果

応募者からは、「パズルラリーに参加してから、木曾地域への訪問回数が増えました」、「木製の記念品は木曾路ならではの。とても素敵です」、「どの交換所も親切に対応していただき、楽しく宿場巡りができました」といった声が寄せられています。

4. 問い合わせ先

木曾森林ふれあい推進センター 電話0264-22-2122

1. ねらい

民有林と国有林の事業連携を検討するため、操作が簡単で一般的に入手しやすいGoogle Earthを活用して情報を統合・共有しました。

2. 概要

森林や路網、事業計画の情報を、民有林と国有林で同じ操作で扱えるように共有できると、事業連携を効率的に検討することができます。しかし、自治体や国有林では、それぞれ異なるGIS(地理情報システム)を利用している上、操作に知識と慣れが必要です。

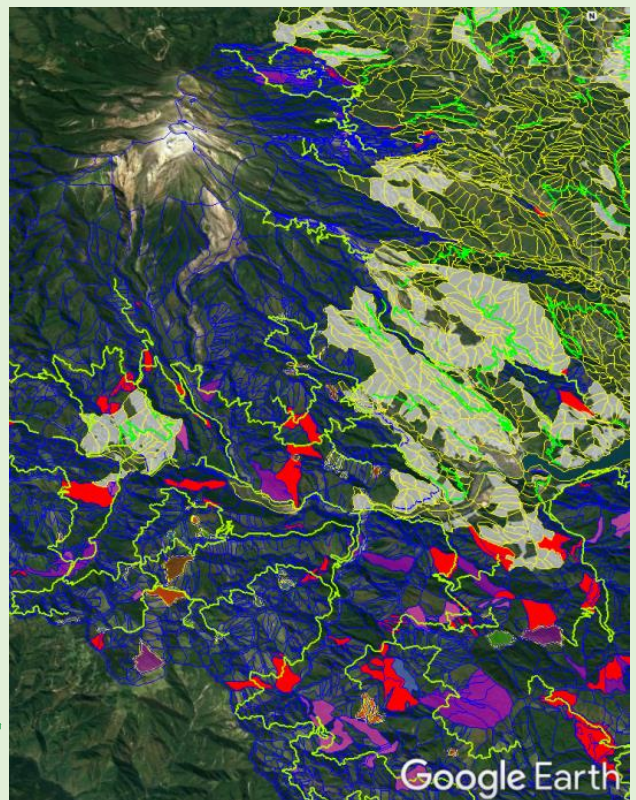
このため、GISのように多機能ではなくても情報の確認が容易にできるように、GISファイル形式(シェープファイル)の森林情報、路網情報、事業計画の情報をGoogle Earthに統合するための手順書を作成するとともに、木曽谷流域の情報を統合して、関係者の間で共有しました。

3. 成果

Google Earthは、世界中の衛星写真をマウスだけで操作して地球儀を回すように見ることができ、地形も立体で表示されます。

統合した情報を使って、民有林の事業では、行政界を越えた路網の連結を検討し、森林経営計画の策定に活用しています。

今後は、森林所有者への説明を行う場面でも、活用が出来そうです。



Google Earthで表示した森林情報

4. 問い合わせ先

木曽森林管理署 電話0264-52-2083

Googleストリートビューを用いた観光資源の紹介

1. ねらい

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察等に適した「レクリエーションの森」を観光資源として紹介するため、パソコンやスマートフォンでも利用できるGoogleストリートビューを活用しました。

2. 概要

Googleストリートビューは、世界中の道路沿いの風景をパノラマ写真で見ることのできるインターネットサービスで、「トレッカーパートナープログラム」に参加すると、撮影機材の貸し出し、撮影方法の説明、プライバシー保護のための画像処理、ストリートビューでの公開といったサービスを、Googleから無料で受けられます。

プログラムへの参加応募～採用ののち、森林管理署の職員がストリートビュー専用カメラを背負って、管内で観光資源として利用されている国有林6箇所、合計27kmの遊歩道等を順次、撮影しました。

公開された画像はGoogleマップから簡単にアクセスできますが、署のHPにも組み込み、森林・林業の歴史や文化とともに地域の見所やおさんぽコースとして紹介しています。

3. 成果

発信した情報が、個人のSNSや地元観光協会のHPに組み込まれるなどの形で広がりを見せています。

現地まで足を運ぶことが難しい方々や、世界中のユーザーに、木曽谷の自然景観を届け、当地域の情報も発信しています。

また、撮影した箇所には非常に貴重な森林も含まれており、森林の状況を記録することで、将来的に資料的価値が高くなると考えられます。



撮影の様子

4. 問い合わせ先

木曽森林管理署
電話 0264-52-2083
南木曽支署
電話 0264-57-2400

ストリートビューを活用した木曽谷の森林や林業の歴史の紹介HPへ



木曽南部の国有林おさんぽコースがストリートビューで見られるHPへ

